

第 33 回 2050 年の日本は？（その 5）

—まとめ—

（2025 年 5 月 27 日）

今回は「まとめ」と題して、今までのお話し
の「まとめ」とまだお話ししていない内容につ
いてまとめてお話ししたいと思います。このまま
「標題」を続けると 1 年ぐらいお話しをしなけ
ればなりませんので、一応一区切りをつけさせ
て頂きます。



本題に入る前に、前回の 32 回「教養講座」の
冒頭で、「今年の夏、スーパーの棚からコメが
なくなり、『令和のコメ騒動』が起きました。
この時の農林水産大臣の『新米が出てくれば、
コメの値段は落ちつく』という発言に、私は違
和感を覚えました。なぜ、この時に備蓄米を放
出しなかったのかと疑問に思ったからです。考えが甘いなとも感じました」と
述べました。5 月 19 日に、農林水産大臣は、「私はコメを買ったことがない。
支援者がくれる。売るほどある」との爆弾発言をし、謝罪、撤回をいたしました
が、最終的に辞任（事実上の更迭）いたしました。私は去年より大臣の発言に注
目しておりましたが、終始「楽観的な」発言をいたしておりました。1 年経過し
てもコメ不足は続き、コメの値段は高騰し続けております（5 月 19 日に農水省
が発表した、5 日から 11 日の全国でのスーパーで販売されたコメ 5 キロの平均
価格は 4268 円で過去最高額を更新いたしました）。前回の「教養講座」で私が
述べたことが現実となりました。要するに、大臣になる資格のない人物が大臣
になり、総理大臣が大臣になる資格のない人物を大臣にしたというお粗末な話
しです。悲しい限りです。イギリスの詩人のワーズワース（1770-1850）の詩の
一節“plain living and high thinking”（質素な生活と高遠なる思考）を、国家・
国民の為に働く仕事を選んだ政治家に対して送りたいと思います。

それでは話を元にもどします。最初に今までお話しした内容を簡単にまとめて、
また新しいお話しも追加いたしました。

1. 人口減少について

5月4日総務省の発表によれば、15才未満の国内に住む日本人の数（外国人含む）は4月1日現在で1366万人（昨年より35万人減）となり、44年連続の減少となりました。また、総人口に占める15才未満の子供の割合は11.1%（昨年より0.2%減）となり、51年連続の減少となりました。ものすごい期間に亘って若者の人口減少が続いていますね。今までに「教養講座」でお話ししたように、このまま人口減少が続くと2050年には日本人の人口は1億人前後まで減少し、更に75年後の2100年には5000万人から6000万人まで減少する予測がでております。2050年までに人口減少に歯止めがかかるかがターニングポイントだと思っております。

2. 女性活躍の時代へ

2024年6月に世界経済フォーラムが発表した「世界男女格差指数2024年版世界ランキング」によれば、日本は146カ国中115位と世界最下位グループに属しております。日本のGender Gap(社会における男女格差)の問題が世界と比較してかなり遅れていることがはっきりとわかります。日本人のDNAには保守的な考え方が一貫して染み込んでいるように思います。そこで、国際的にも国連女性差別撤廃委員会などからは是正勧告されている、現在の日本の結婚時に夫婦どちらかに改姓を義務付ける「夫婦同姓制度」に対して、「選択的夫婦別姓制度」法案が今国会で提出され可決されれば、「女性活躍の時代へ」にむけての大きな一歩となるのではないかと思います。このぐらいのことができれば、2050年に向けて「女性活躍の時代へ」は無理でしょう！（5月22日時点で、今国会での同法案の成立は、自民党内での意見がまとまらず、ほぼ絶望的になりました）

3. 中・長期的ビジョンを

「中・長期的ビジョンを」ではコメ問題を扱いました。現在でもコメ不足と米価の値上がりが続いております。5月7日に地元のスーパーに行ってコメ売り場を調べてみました。備蓄米は全くありませんでした。コメもあまりなく、その代わり1キロ詰めと2キロ詰めのコメがかなりありました。1キロ詰のコメは初めて見ました。兎に角、もう一年も続いておりますので、コメ不足を解消し、コメの値段を下げるのが、先ず先決です。政府はコメ対策に無策ですので、私が、この解決方法を提案したいと思います。それには当分の間コメの購入を控えることです。私の家では実際に行っています。週に3〜4日は夕食にコメを食べ、後の半分の3〜4日はパン・麺類を食べるというやり方です。コメの消費を

半分にすることができます。そうすれば、当然コメ不足がなくなり、コメの値段が下がります。例えば、コメ以外の我が家の夕食のメニューを二つ紹介いたします。パンにハム・ベーコン・コンビーフ（私はコンビーフ）などを挟み、レタスなどの野菜を入れ、最後にマスタードを入れればサンドイッチが出来上がりです（私はベイクドサンドイッチが好きなので、トーストにします）。フランスパンを使うと最高に美味しいですよ。それにサラダとチーズ、夕食ですのでシチューを加えます。ワイン、コーヒーが合いますね。わりと豪華な夕食になります。和食では、うどんと豚汁のコラボで、味噌煮込み豚汁うどんと我が家ではよんでいます。野菜をたくさんいれて、夕食ですので豚肉も多くすれば栄養満点の夕食の出来上がりです。熱いうどんには「箸休め」としてほうれん草のおひたしと冷ややっこ、これから旬を迎える枝豆などを加えたらいかがですか。これも美味しいですよ。これにはビールが合いますね。子供がいる家庭では副菜（唐揚げ、餃子、ソーセージなどいろいろ）を用意すればよいですね。コメを使わずにいくらでもメニューはできます。皆さん、是非試してみてください。「もう始めているわよ！」ですか、失礼いたしました。是非続けて、そしてコメの購入を控えて下さい。或いは、日本産のコメは買わないで、安い外国産のコメを買って下さい。外国産のコメも大分輸入されるようになってきました。そうすれば、当然コメ不足が解消され、コメの値段を下げることができます。少しの我慢です。先程述べたように政府はコメ対策に無策（コメの問題だけではありませんが）ですので、私はこれしかないと思っています。その後、コメ農家などに経済支援を行い、そしてコメの適正価格、年間生産量、複雑な流通ルートの簡素化、農家の高齢化問題、日本の食料自給率（昭和 35 年度の 79% から令和 4 年度では 38% になっています）などについての中・長期的ビジョンを立てればいいのです。

4. 一人当たりの GDP

GDP は「国の経済規模」を表し、一人当たりの GDP は「国民の豊かさ」を表します。日本は GDP が世界第 4 位の経済大国です。しかし、私はこの言葉には、二つの疑問をもっています。一つは、“Japan as No.1” と言われた 1980 年代では、「一人当たりの GDP」は世界第 2 位でした。IMF が作成したものを参考にし、私が作成した 2024 年の「一人当たりの GDP（米ドル）世界ランキング（世界 192 カ国と地域）」で日本は何と 38 位で 33,140 米ドルでした。世界第 1 位はルクセンブルグで 131,380 米ドル、ルクセンブルグの国民は日本国民よりも 4 倍の「豊かさ」を享受していることになります。日本は先進国の中では最下位であると言っていいでしょう。二つ目は、国債の発行残高と地方政府の地方債の発行残高を合わせると約 1200 兆円を超え、日本の債務残高（借金）は GDP（国の経済規模）の 2 倍を超えており、主要先進諸国の中で飛びぬけて

高い水準になっています。財源がないので、国債発行（借金）を繰り返し、これほど多くの「借金」が溜まってしまったわけです。例えば、「高校授業料無償化」と言っても、その財源はまだ決まっていません。万事がこういう状況です。一人当たりの **GDP** の大幅な下落と巨額な債務残高を抱えていては、胸をはって、日本は「経済大国」であるとは言えないでしょう。

分かりやすい例をあげれば、インバウンドの観光客は、「日本は物価が安い、安い」と言って、「爆買い、爆食い」していますね。これだけではなく、不動産にも投資をしております。一方、日本国民にとってはコメ、野菜を初めとして全ての面で物価が高く、苦しんでいます。現在の日本人の生活は先進国の生活よりも途上国・新興国の生活に近いのではないのでしょうか。**OECD**（先進国の集まり）の資料によれば、**2024** 年の日本のエンゲル係数は **28.3%** と **1983** 年以来 **43** 年ぶりの高い水準となりました。勿論、**G7** 諸国の中では指定席の最下位の高い水準です。ドイツは **18.9%**、イギリスは **21.8%** です。エンゲル係数は「豊かさ（或いは貧困さ）の指標」と言われております。食料費は生きていくために必要なものですので、一般的にエンゲル係数の指標が下がれば「豊かさ」が上昇し、上がれば「貧困さ」が増すと言われております。日本は「一人当たりの **GDP**」と「エンゲル係数の高い水準」が一致しておりますね。これが日本の現状なのです。悲しい限りです。

この問題を解決するには、**2050** 年までに大幅な賃上げが必要です。まずは、中間の **2038** 年ごろまでに、賃上げが右肩上がりに大幅に上昇し続けることが出来るかを見たいと思います。やはり、**2050** 年がターニングポイントになるのではないのでしょうか。

5. 平均賃金

上記に述べたように、大幅な、継続的な賃上げが必要です。では、日本の平均賃金を先進諸国と比較してみました。下記の表は **OECD** の資料に基づいて **2023** 年の主要国の平均賃金をまとめてみました。

Average Annual Wages, US dollars, 2023

順位・国名	平均賃金 (米ドル)	順位・国名	平均賃金 (米ドル)
1 ルクセンブルグ	89,767	11 カナダ	66,211
2 アイスランド	87,421	12 ドイツ	65,719
3 スイス	83,332	13 フランス	59,087

4 アメリカ	80,115	OECD 平均	58,232
5 ベルギー	73,206	14 ニュージーランド	58,097
6 ノルウェー	71,972	17 イギリス	57,617
7 オーストリア	71,167	20 スペイン	51,336
8 オランダ	70,185	22 韓国	49,062
9 デンマーク	69,525	25 日本	46,292
10 オーストラリア	67,101		

註：OECD の Average Annual Wages, US dollars,2023 に基づいて、海老沢が作成

ルクセンブルグの平均賃金は日本の約 2 倍です。これはあくまで平均賃金ですので、インバウンドで訪日する方は恐らく平均賃金を上回っている可能性がありますので、そうすれば当然、日本の物価はかなり安いものとなります。「日本は物価が安い、安い」というのも頷けます。少なくとも **2050** 年までに、日本は **OECD**（先進国の集まり）平均まで追いついてもらいたいと思います。現時点であと、1 万 2000 ドルです。これが達成できなければ、2050 年の日本の経済状態はかなり厳しいものになるのではないのでしょうか。

6. 予算には優先順位を！

今年度（令和 7 年度）の国家予算総額（当初予算）は 115 兆 1978 億円で、歳入の部で最も多い順に第 5 位まであげると次のようになります。

1. 国債発行（借金） 24.9% 28 兆 6471 億円
2. 消費税 21.6% 24 兆 9080 億円
3. 所得税 19.7% 22 兆 6660 億円
4. 法人税 16.7% 19 兆 2450 億円
5. 相続税等 9.5% 11 兆円

何と国債発行（借金）による収入が 1 位です。財源の多くを国債に頼る厳しい財政状況が続いているのが分かります。では、歳出の部で最も多い順に第 5 位まで上げると次のようになります。

1. 社会保障 33.2% 38 兆 2938 億円
2. 国債費 24.5% 28 兆 2179 億円
3. 地方交付税交付金等 16.4% 18 兆 8728 億円
4. その他 8.2% 9 兆 4025 億円
5. 防衛関係費 7.5% 8 兆 6691 億円

社会保障と国債費（国債の償還と利払い）で支出のうち 57.7%を占め、66 兆 5117 億円となっております。社会保障を安易に削減することはできません。何をやるにしても財源がありません。これが日本の現状ですので、皆さん、よく覚えて

おいて下さい。

上記でお分かりのように、財源がありませんので、予算には優先順位をつける必要があります。例えば、物価対策、その中でもコメを初めとして食料品の値段が上昇しておりますので、これは緊急の問題です。人間は食べなければ生きていけません。食料品に対する消費税を2年間限定で0%にする対策をしたらいかがでしょうか。国会でも問題になっていますね。財源が問題ですが、知恵を絞れば、よい案も出てくるものと思います（財源については私には考えがありません）。一方、高等学校の授業料無償化が今国会で決まりましたが、これは「ばら撒き」です。公立学校の授業料無償化は理解できます。むしろ公立学校の施設改善、教員不足の解消、教育内容の充実に予算をあてて魅力ある公立学校にしたらいかがでしょうか。私立学校の授業料無償化については、財源がなく、これは恒久的に続くわけですので、優先順位は低く、現時点では私は反対です。少ない財源を有効に使用することが肝要です。財源不足は深刻な問題ですので、国民の皆さんも真剣に考える時期に来ているのではないですか。

「人口減少について」「女性活躍の時代へ」「中・長期ビジョンを」「一人当たりのGDP」「平均賃金」「予算には優先順位を」、これらの問題を2050年までに解決できれば、2050年の日本社会は比較的明るく、国民は比較的豊かな生活を送れる社会になっているでしょう。期待したいものです。

（次回は7月中旬を予定しております）